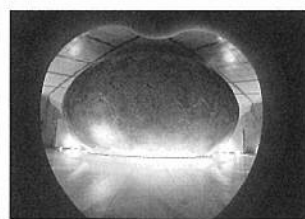


富山県[立山博物館] 五響の森 まんだら遊苑

まんだら遊苑は立山に伝わる立山曼荼羅の世界を五感（見・聴・香・触・空）で体感できる施設です。
地界・陽の道・天界・闇の道の四つのエリアで構成されています。

ナイトウォークは毎年、夏の夜に開催される特別なイベントです。無数のキャンドル等を使ったライトアップと、お香・アロマを使った香りの演出により、普段体験することのできない夜のまんだら遊苑を楽しむことができます。



〈天界〉

立山浄土を表現したエリア。キャンドルやLEDライトを使った幻想的な空間が広がります。
(香り ハス)



〈地界〉

立山地獄を表現したエリア。オレンジ色の照明が恐ろしい世界を演出します。
(香り ビャクダン)

入口



出口



〈陽の道〉

自然の音と香りを楽しむためのゆったりとした空間です。キャンドルの光が天界へ導く光の道を浮かび上がらせます。
(香り ハクサンフウロ)



〈闇の道〉

天界から現実の世界へ帰帰する道です。うねるような暗いトンネルの中を歩きます。

まんだら遊苑

- 時間 [通常] 9:30~17:00 (入苑は16:30まで)
[ナイトウォーク] 18:30~20:30 (入苑は20:00まで)
- 観覧料 一般400円・大学生以下、70歳以上の方は無料
- 休苑日 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、冬季休苑(12月~3月)

後期特別 企画展

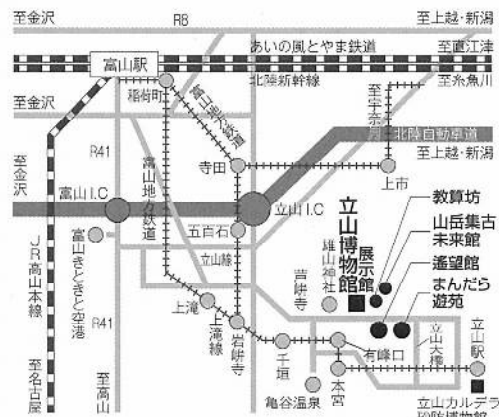
かがやく天産物

一時代を越える立山ブランドを求めて-

江戸中期、あらたな産物開発のため幕府が行った天産物調査や採薬使の派遣。明治初期の殖産興業を進めるための明治新政府が行った全国的な鉱物資源調査やウィーン万国博覧会への出展。そして国産エネルギーの増産を目指す立山の炭鉱開発。これらの時代を越え、豊かさを旨として天産物を求めた歴史とそれらをめぐる立山のエピソードを、標本や関連文書などで紹介します。



- 会期 9月14日(土)~11月4日(月) 9:30~17:00 (入館は16:30まで)
- 会場 展示館1階、企画展示室
- 観覧料 [展示館] 一般300円/[企画展] 一般200円、大学生100円



● ACCESS ●

自家用車で

- 富山市内から約45分
- 富山地方鉄道立山駅から約15分
- 北陸自動車道富山ICから約35分、立山ICから約30分



富山県[立山博物館]

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1

TEL076-481-1216 FAX076-481-1144

http://www.pref.toyama.jp/branches/3043/home.html